

【障害者週間】東欧音楽家支援 日本・ブルガリア・ルーマニア文化交流演奏会
東日本大震災チャリティーコンサート

国際親善交流 INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL 特別演奏会



及川光悦 指揮

Mitsuyoshi Oikawa Conductor

演奏：モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団
Mozart Virtuoso Festival Orchestra

東京公演
26th

2013年10月28日月 開演18:30
(開場18:00)

東京芸術劇場大ホール(池袋西口)

東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111(代)

6:30 p.m. MONDAY, OCTOBER 28, 2013, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

全席指定 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000



サンジアナ・ミルチェア

ピアノ

Sinziana Mircea Piano



リリ・ボグダノヴァ

ピアノ

Lili Bogdanova Piano



ロセン・ガメフ

ヴァイオリン

Rossen Gamev Violin



宮澤 等

チェロ

Hitoshi Miyazawa Cello

ベートーヴェン作曲：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」

BEETHOVEN: PIANO CONCERTO NO.5 IN E FLAT MAJOR, op.73 "EMPEROR"

ピアノ：サンジアナ・ミルチェア

ベートーヴェン作曲：ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲 ハ長調 作品56

BEETHOVEN: TRIPLE CONCERTO IN C MAJOR, op.56

ピアノ：リリ・ボグダノヴァ ヴァイオリン：ロセン・ガメフ チェロ：宮澤等

ベートーヴェン作曲：交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

BEETHOVEN: SYMPHONY NO.3 IN E FLAT MAJOR, op.55 "EROICA"

チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325 東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296

主催：国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325

後援：外務省・文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ブルガリア共和国大使館・ルーマニア大使館・テレビ朝日・TOKYO FM

特別協賛：meiji 株式会社 明治・富士ゼロックス株式会社・みずほ証券

協賛：日本興亜損保・三菱電機株式会社・協和発酵キリン株式会社・株式会社 東芝 協力：サッポロビール株式会社・日本コカ・コーラ株式会社・メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。 ※障害者、養護施設、母子家庭、高齢者の方々を御招待致します。

及川光悦 指揮 Mitsuyoshi Oikawa Conductor

1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されバリエ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルボー氏に師事、スコラ・カントラル音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けトマル・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽。数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学。小澤征爾氏のもとで研鑽を積み、1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーペリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダツケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオペラ座、パイロイト音楽祭、ペローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積み、1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりたつ・外山雄三作曲」の海外初演を大いに歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」、FMジャパン「ウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルチヌ・フィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連・モスクワ放送交響楽団、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、カスロヴァフィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦

楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ベトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化省の後援のもとでフランス・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノクシンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月日本、ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女士と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。

2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名章賞」を授与される。

2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。

2011年10月、ポーランド（ピゴドシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。

2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。

サンジアナ・ミルチエア ピアノ Sinziana Mircea

サンジアナ・ミルチエアは、ブルガリア生まれのルーマニア人ピアニスト。故郷でもある首都ブルガリアで、「ジョルジュ・エネスク音楽高等学校」を卒業し、現在は、独・ケルン音楽大学の二年生。シラ・アーノルド教授のクラスで学ぶがたわら、2011年10月からは、クリスティアヌ・カラジエヴァ教授からも念入りな指導を受ける。

サンジアナの初の受賞は8歳の時で、ブルガリアのプロピアノ国際コンクールで優勝を果たした。以来、数々の入賞を果たし、そのうちの12コンクールは優勝で、ルーマニア、ギリシャ、イタリア、スペイン、オーストリアなど諸外国でのコンクールであった。サンジアナの才能が顕著に示されたのは、自身の年齢より高い、14歳から16歳を対象としたスペインの「シウダード・ドゥ・サンセバスチャン国際コンクール」で2歳で果たした優勝と、バルマ・デ・マリョルカで2012年5月に行われたロータリー国際ピアノコンクールでの「プラトナーズ・イレヴン賞」や、2011年8月のウィーンの「若きピアニスト・マスタークラス」における「リスト賞」、「ミュンヘン・クラビアポディウム賞」などであった。

サンジアナ・ミルチエアの演奏は殆どがソロが室内音楽のリサイタルであり、ルーマニア（ブルガリア交響楽団）、オーストリア（ウィーンのEhrbar Saal）、イタリア（リヴァ・デル・ガルダ・フェスティバル）、ドイツ（ベルリン、ボン、ケルン）、スウェーデン（オーロラ・フェスティバル）、ベルギー（ワブ市民ホール）などの演奏がある。

11歳で、初の米国でのリサイタルを、ワシントンD.C.のルーマニア大使館で行い、続いて、14歳の時に、ワシントンD.C.、シカゴ、デラウェア州・ジョージタウン、ハートフォード、ウィルミントンなどで演奏した。

17歳で、オーケストラ・デビューを果たし、ルーマニアのアラド交響楽団（ドリン・フランデス指揮）と共演した。

2012年12月には、ルーマニアのナショナルデーを祝って、BBCのラジオ3が行った、「ユーロクラシック・ノットルノ」という番組で、サンジアナの18歳の時の生演奏が放送された。この番組で演奏したルーマニア人は国内の最も優れたクラシック音楽家たちであり、サンジアナは最年少であった。

ロセン・ガメフ ヴァイオリン Rossen Gamev

1994年ブルガリア、ソフィア市生まれ。6歳からヴァイオリンを学ぶ。ドチカ・ミホヴァ先生（ヴェリコ・タルノヴォ市）、ユリヤ・アングロヴァ先生とラドミラ・ベトロヴァ先生（リュボミル・ピブコフ国立音楽学校）に教わる。

ロセン・ガメフは次の音楽コンクールで第一賞を受賞している：
プロヴァディア市「スベトスラフ・オブレテノフ」全国音楽コンクール（ブルガリア、2004）、ソフィア市「オルフェウスからの贈り物」青少年ナショナルコンクール（ブルガリア、2006）、ブルガス市・「Magic」・オーストリア及びドイツ音楽国際コンクール（ブルガリア、2007）、ベオグラード市「ベタルト・シュコフ」国際コンクール（セルビア、2011）、ヴァルナ市・チェコ及びスロバキアの作曲家のナショナル・コンクール（ブルガリア、2011）、ニシュ市第5回弦楽器国際コンクール（セルビア、2011）、「ヴァルナの夏」ヴァイオリンコンクール（ブルガリア、2011）など。

ロセン・ガメフはソフィアの青年フィルハーモニーのコンサートマスターでありながら、ヴィティン市フィルハーモニーのコンサートに2010年と2011年に2回ほどソリストとして参加している。

同氏はベンカ・ベトロヴァとヨアナ・ランブレヴァと共に「Appassionato」トリオを創立し、トリオは2012年に「Concertino Praga 2012」ヨーロッパラジオコンクールにおいて同部門において第一賞、すべての部門の優勝者に授与される「ヘレナ・カラスコヴァ」チェコラジオ特別賞を受賞する。また、青少年のための音楽コンクール欧州連合（EMCY）の賞の受賞者でもある。

「Concertino Praga 2012」の他の受賞者と共に、「Appassionato」トリオは同年にチェコのブラハで開催されたスペシャルコンサート及び南ボヘミア音楽フェスティバルに参加する。チェコのラジオは優勝者であるロセン・ガメフが参加する「Appassionato」トリオのCDもリリースしている。

リリ・ボグダノヴァ ピアノ Lili Bogdanova

1994年ブルガリア・ソフィア市生まれ。ソフィア市「リュボミル・ピブコフ」国立音楽学校のピアノ学科長のエミリア・カネヴァ先生に5歳からピアノを教わる。2010年から「パンチョ・ヴラディゲロフ」国立音楽アカデミーのボリスラヴァ・タネヴァ先生にも指導を受ける。

リリ・ボグダノヴァは数多くのブルガリア国内及び国際コンクールの多くの賞を受賞している。

ブルガリア：プロヴァディア市「スベトスラフ・オブレテノフ」音楽コンクール第一賞受賞、スタラ・ザゴラ市「クラシックと現代」音楽コンクールより第一賞受賞、ソフィア市「若手ヴィルトゥオーゾ」コンクール第二賞受賞、ルセ市「フランス・シュベルト」音楽コンクール第三賞受賞、シュメン市「パンチョ・ヴラディゲロフ」音楽コンクール第

二賞受賞、ヴァルナ市「ミラ・ミハイロヴァ」音楽コンクール第一賞受賞、ブレベン市音楽伴奏コンクール第一賞及び特別賞受賞、ブルガス市内音楽第一賞受賞。

国際のコンクール「カール・フィルツ」コンクール第一賞受賞（ルーマニア）、「エヴァンゲリヤ・トジャリ」グランプリ受賞（キプロス）、「Virtuosi per musica di pianoforte」第一賞受賞（チェコ）、クラヨヴァ市ピアノ国際コンクール第二賞受賞（ルーマニア）、マンチェスター市「Corby Transcription Competition」ピアノコンクール第一賞受賞（イギリス）、オーストリア室内音楽コンクール第一賞受賞。

リリ・ボグダノヴァは「New Symphony Orchestra」-Sofia, 「Classic FM Orchestra」-Sofia, 「Symphonietta Vidin」（ブルガリア）、「Columbia County Chamber Orchestra」（米国）, 「Symphonietta Athens」（ギリシャ）など、国内外の多くのオーケストラのソリストとして活躍している。

宮澤 等 チェロ Hitoshi Miyazawa

国立音楽大学卒業。1992年オランダ・オランダフェスティバルマスターコース合格、G.クルタークに師事。1994年レング国際音楽祭(スイス)においてファイナルコンサート出演。2002年ルーマニア国立ブラショフフィルからの招聘演奏を行う。2007年1月には

ニューヨーク、カーネギーホールにてコンサート、2008年2009年には中国、北京大学にてコンサート、2011年1月にも中国4都市8公演し好評を博す。現在、室内合奏団「ウッドランドノーツ」主宰。ジャパンシンフォニア首席奏者。国立音楽大学嘱託演奏員及び同附属音楽高等学校講師。

